



## 美園中 写生会 を実施しました！！【11月11日（土）】

秋の陽気の中で、絵を描き、心通い合う一日となりました。



11月11日（土）に、写生会が実施されました。昨年は、荒天のため校舎内での実施でしたが、今年は、天気にも恵まれ、校庭での実施となりました。1年生は北グランド、2年生は南グランド、3年生は、両方を使い、思い思いの場所で写生に取り組みました。友達同士や先生との話も弾み、校庭中に笑顔がたくさん見られました。終了後、各教室前の廊下に作品が掲示され、金賞、銀賞、特別賞が決められました。



## 様々な分野でも活躍！【11月】吹奏楽部 打楽器四重奏で県大会出場！

### ◎ 埼玉県アンサンブルコンテスト南部地区大会 吹奏楽部

[金賞]: 打楽器四重奏 (松藤佳奈 横山菜々香 山下日菜 吉田珠美) 県大会出場

[銀賞]: クラリネット六重奏 (田村嶺奈 林郁花 八木橋竜希 渡辺陽向 木暮さち 佐々木美綺)

### ◎ さいたま市人権標語コンクール

[入選] 「思いやり 忘れてはいけない その言葉」	名古屋樹貴 (1-3)
「やめようよ その一言が 勇気です」	小口楓加 (1-5)
「言ってみて 自分自身に その言葉」	平野澄羽 (2-2)
「止めようよ 勇気を出せば 変わるから」	厚澤由美香 (2-5)
「助けるよ 君の思いは 届いてる」	三浦健一郎 (3-2)
「見つけよう 君と私の 良いところ」	榎本美桜 (3-4)

## 薬物乱用防止講演会 【11月22日（水）】

11月22日（水）第5, 6校時を使い、薬物乱用防止教室が行われました。今年度は、埼玉県警非行防止指導班「あおぞら」から2名の講師をお招きしての実施となりました。実話にもとづく話もあり、生徒は集中して話を聞いていました。講演会後にアンケートを実施し感想等書いてもらいましたので紹介します。

- ・薬物をすすめられても、はっきりと断るのはもちろんのこと、身近な人が薬物を使用していたら警察などに相談をして、できれば使用をやめさせたい。(3年女子)
- ・「大丈夫です」「いいです」などといったあいまいな答えでは悪い人の思うつぼなので、「ぼくは、いません」とはっきり言ったほうがいいと思いました。(3年男子)
- ・薬物とは、本当に危険な物だと改めて感じた。薬物を乱用した時の罪がまだ軽いと思うから重くしてほしい。(2年男子)
- ・薬物は、主に若い人々がねらわれていて、薬物にかかわってしまうことによって人生を棒にふるってしまうということが特に印象に残りました。(2年女子)
- ・印象に残っていることは、薬物乱用によるデメリットの全てです。その中でも、「脳の縮小」と「フラッシュバック」です。人生を棒に振るようなことになってしまうというのは恐ろしいものだったからです。(1年男子)
- ・これからの人生の中で、薬物に手を出すことのないように判断力をもったり、あやしいと思ったときに考えたりなど今回知ったことを忘れずに過ごしたい。(1年女子)



## 平成29年度後期生徒総会【11月27日（月）】

### ☆ 3年生から2年生・1年生へ ☆ 十人十色 ～明るい笑顔 輝く個性～

11月27日（月）の午後、前期生徒会活動の総括、後期の方針を決定する「生徒総会」が開催されました。生徒会本部、各委員会委員長、各部の部長からの説明の後に質疑応答が行われました。

新生徒会本部では「一人ひとりの個性を尊重し、彩りある学校にしたい」「学校に笑顔が咲きほこってほしい」という思いをこめたスローガンとして「十人十色～明るい笑顔 輝く個性」を決めました。今後、「あいさつ運動」や「キャンペーン」に取り組み、委員会と連携しながら美園中を良くしていきたいと報告されました。今年2回目の生徒総会ということもあり、スムーズな総会運営が行われていました。



### 【お知らせ】①「県大会出場」の看板を新たに設置しました。ご来校の際はご覧ください。

新人体育大会で県大会出場を果たした運動部と埼玉県アンサンブルコンテストで県大会出場を決めた吹奏楽部を記念してPTAで看板を作成し、正門脇に設置されました。

### ② 体罰・暴言等不適切な指導に関する相談票の市HPへの掲載について

相談票の掲載箇所は、市ホームページ [トップページ>子育て・教育>教育>お知らせ>平成29年度 体罰・暴言等不適切な指導に関する相談について] です。  
<http://www.city.saitama.jp/003/002/011/p056013.html>

### ③ 第3学期 始業式は1月9日（火）です。良い年をお過ごし下さい。

冬季休業中は、①家の手伝い、②家庭学習、③部活動、④リフレッシュなど目的を持ち、計画的に過ごしてください。また、健康面や安全面への注意も忘れずに過ごしましょう。